文集BookMark

源氏物語シリーズ

定価 880円（税込）

それぞれ個性のある女性が源氏物語には多く登場します。
その登場人物の女性の気持ちを表現した文集ブックマークです。

始

源氏物語の冒頭文

主人公「光源氏」（ひかるげんじ）の生涯と恋模様を描いた長編恋愛物語。

『源氏物語』の有名な冒頭の一文であるこの文章。単なる説明文ではなく、さまざまな物語の設定を読み取ることができます。紫式部の独特の世界観と作品中の描写が人の心をつかんだ名作として今でも語り継がれています。

BS011 / 紫式部
JAN / 4989364259681

冷

葵の上はツンデレ!?

光源氏の最初の妻だが、素直になれずなかなか仲良くなれないふたりの恋模様に注目。

冷めた関係の2人でしたが、葵の上のはじめての妊娠をきっかけに、葵の上を愛しく思いはじめます。しかし、出産をきっかけに亡くなってしまった葵の上。そんな葵の上を想い、詠んだ光源氏の気持ちを感じることのできる歌となっています。

BS014 / 葵の上
JAN / 4989364259711

若

当時10歳の幼き少女

恋焦がれていた藤壺にそっくりな少女を見て思わず連れ去ってしまう王道ヒロイン紫の上。

源氏物語において、光源氏に次ぐ主要な人物。光源氏の思う理想的な女性に育っていく紫の上と2人の強い関係性が築かれていく模様は源氏物語の見どころのひとつ。この歌は、幼き紫の上を見た光源氏が思わず詠んだ歌です。

BS017 / 紫の上
JAN / 4989364259742

癒

穏やかで優しい花散里

会えなくても不満を見せない花散里に癒しを求めて訪ねる光源氏。

源氏が自分を忘れてしまうわけでもなく、妻にするわけでもない状態にも関わらず、不満を見せない花散里を光源氏は大切にしていました。そんな花散里の控え目だが、優しい気持ちを詠んだ歌は心が清らかになるような美しい歌となっています。

BS020 / 花散里
JAN / 4989364259773

母

桐壺と光源氏の誕生

主人公公光源氏の実母で数多くいる妃の中で帝のご寵愛を一身に受けた人物。

帝の寵愛を受け光源氏を出産。しかし、他の女房たちからの嫉妬や嫌がらせが重なったせいか、光源氏が3歳の時に病で亡くなってしまいます。この歌は、桐壺が亡くなる直前に詠んだ句で、桐壺の痛切な叫びが感じられる句となっています。

BS012 / 桐壺帝
JAN / 4989364259698

嫉

怪とうわきの六条御息所

光源氏への想いの強さから、生き霊となってしまったといわれる悲劇の女性。

六条御息所といえば、葵の上との車争いが有名ですが、その後葵の上やさまざまな女性に生き霊となりとりついてしまったといわれています。この歌は、そんな苦悩極まった彼女の想いを現した、「絶唱と言うべき一首」となっております。

BS015 / 六条御息所
JAN / 4989364259728

羽

自由さが魅力の朧月夜

皇太子の妃として結婚をひかえていた姫が光源氏との禁断の恋に落ちる。

朧月夜が帝の愛情を受けながらも、帝がいないときを見計らっていながら朧月夜の元に通い、束の間の逢瀬を楽しむふたり。そんなふたりを現すような朧月夜の君が詠んだ歌は、美しくも切ない二人の関係を現すかのような歌になっています。

BS018 / 朧月夜の君
JAN / 4989364259759

謙

いつも謙虚な明石の君

光源氏との身分差からいつも謙虚で気高く、我慢強い性格の明石の君。

明石の君も須磨の謹慎中に出会った女性です。謹慎が終わり、都と明石、離ればなれになる二人。光源氏との身分の差を目の当たりにし、涙を流し詠んだ明石の君の歌は明石の君の謙虚さが伺える、切ない歌となっています。

BS021 / 明石の君
JAN / 4989364259780

禁

藤壺との禁断の恋

亡き桐壺に瓜二つな藤壺。光源氏は母として慕うが、想いはやがて恋慕に・・!?

光源氏との子を身ごもってしまった結果、藤壺への想いが溢れる光源氏に対し、「こんな罪を背負って生きていくのはつら」と思う藤壺。藤壺が光源氏に宛てて詠んだ歌に込められた当時の想いをこの歌から感じることができます。

BS013 / 藤壺
JAN / 4989364259704

傷

繊細でミステリアスな夕顔

六条御息所に気疲れしていた光源氏は、素直で可憐な夕顔に惹かれていく・・。

最後は六条御息所の生霊に殺されてしまうという悲惨な結末を迎える夕顔ですが、儚いイメージを持ちつつ、魅惑的で愛らしい彼女。光源氏に自ら歌を詠んだ積極的な夕顔のギャップに光源氏は惹かれたのかもしれないと感じる素敵な歌です。

BS016 / 夕顔
JAN / 4989364259735

純

源氏を待ち続けた末摘花

足かけ3年、光源氏に忘れられても待ち続ける姿に心打たれる純粋無垢な末摘花。

朧月夜の件で須磨に飛ばされた先で出会った2人。引っ込み思案な末摘花。光源氏がすっかり存在を忘れ、通わなくなった後も、貧しい生活を強いられながらも光源氏を待ち続けた誠実さと一途さが光源氏の心打った歌です。

BS019 / 末摘花
JAN / 4989364259766

光

沢山の女性を愛した光源氏

沢山の女性と恋をした光源氏ですが、いったいどの女性が本命の女性だったのでしょう。

描画が美しいこの歌は、光源氏がひそかに想いを寄せていた藤壺にあてて詠んだ有名な歌です。恋愛・栄光にスポットをあてた物語は多くの女性の共感を得ました。約800首ある源氏物語の歌。お気に入りの歌が見つかると思います。

BS022 / 光源氏
JAN / 4989364259797

METAL CRAFTSMAN

東洋精密工業株式会社

@toyo_ppm

【本社】〒634-0836 奈良県橿原市新堂町 376 番地の 1
TEL:0744-23-9176 / FAX:0744-29-0397

【東京営業所】東京都台東区上野 6 丁目 1-11 平岡ビル 601 号
TEL:03-5817-8605 / FAX:03-5817-8606
MAIL:ig-hq@toyo-ppm.co.jp